

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助 ・ <u>その他補助</u>	開始時期	平成29年4月1日	終期	令和2年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	私設排水路等整備助成金 住民をもって組織された団体が健全な生活環境の向上に寄与するため、私設排水路等の新設又は回収及び排土の工事に要する経費の一部を助成するもの。						
款・項・目	土木費・都市排水応急対策費・都市排水応急対策費						
所属等	下水道部 下水道計画課 計画班			電話 025-226-2979 (内線32979)			

年 度		平成29年度(1年目)	平成30年度(2年目)	令和元年度(3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	3,000	0	0
	決算(千円)	1,030	0	0
補助率		基準工事費の7/10	基準工事費の7/10	基準工事費の7/10
目 標		私設排水路を利用する住民の環境改善が目的であり、下水道整備が完了し、私設排水路に依存する地域がなくなること。 <目標が数値でない場合の評価方法> 予算執行率		
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満	34.3% 2件		
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づき達成度について記入してください	当制度は、下水道整備が完了するまでの間、公共下水道を補完するためのものです。その必要額を勘案して予算計上しており、制度が活用されることにより公共下水道を補完し環境改善に貢献していると判断されるため、目標達成度は、予算執行率を指標としている。	事務事業点検により休止中	事務事業点検により休止中
補助事業者による情報の公表		住民負担金等の個人情報保護規定に抵触するので公表できません。		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	×
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 宅地化等により用途廃止された農業用排水路等を生活環境の改善、局所的豪雨による浸水被害対策の一助として有効活用するため、高めの補助率を採用している。 <g～hにおける取組> 本制度が利用されることにより公共下水道を補完し、環境改善・浸水対策に貢献していると判断されるため、目標の数値化は難しく、今後も予算執行率を指標として取り組んでいきたい。			
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 本事業はH29年度事務事業点検により休止中となっている。それ以前は補助件数としては、毎年ほぼ平均的に需要があったところであり、現在も地域から制度活用の相談があるが、断っているところである。			
	① 拡充・改善(補助率, 補助額, 補助対象経費, その他) ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 近年の雨の降り方の局所化・集中化・激甚化など浸水被害が多発している実情を鑑み、市民の安心安全なまちづくりのために必要性の高い事業だと考えている。ここ最近では本市で大きな浸水被害が確認されていないが、集中豪雨等で浸水対策事業を行う際に、新たな雨水幹線整備等の公共下水道事業よりも既存施設を有効活用することで経費削減につながるため、継続事業として実施する。				